

国別開発協力方針 別紙

対トリニダード・トバゴ共和国 事業展開計画

2020年 4月 現在

基本方針 (大目標)	脆弱性の克服(カリコム加盟諸国共通)
---------------	--------------------

重点分野1 (中目標)	防災・環境												
開発課題1-1 (小目標) 防災・環境問題改善	【現状と課題】 小島嶼開発途上国であるトリニダード・トバゴでは、気候変動の影響もあり、大雨による洪水被害が慢性化しており、防災能力強化が課題である。また、同国は原油産出国であるが、一人当たりのCO2排出量が世界有数の高さにあることから、再生可能エネルギーへの転換及び省エネルギーの推進が課題となっている。廃棄物管理分野については、3R（廃棄物の発生抑制（リデュース）、資源や製品の再利用（リユース）、再生利用（リサイクル））を推進しており、帰国研修員が中心となって廃棄物資源化法案を起案するなど、法整備も進められている。			【開発課題への対応方針】 周辺諸国との連携・知見共有を念頭に置きつつ、防災、省エネルギー・再生可能エネルギー、廃棄物管理等の分野において、小島嶼開発途上国特有の脆弱性克服のために必要な支援を展開する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度			
	防災・環境問題改善支援プログラム	防災、省エネルギー・再生可能エネルギー、廃棄物管理等の分野において、小島嶼開発途上国特有の脆弱性克服のために必要な支援を展開する。	防災分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■						0.23	
			防災・環境分野の課題別研修	課題別研修他	■	■							
カリブ地域総合防災アドバイザー			個別専門家			■	■	■	■	■	■		広域案件(カリコム14か国対象)
カリコム省エネルギー推進プロジェクト			技プロ			■	■	■	■	■	■	3.30	広域案件4か国対象とし、支援額は全体額
<p>【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実証「――」(＝実施期間)、破線「――」(＝実施予定期間)</p> <p>※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。</p>													